



# 郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2025年1月7日

1月号

校長 安倍 武雄

## 学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

## 2025年もどうぞよろしくお願ひいたします

保護者の皆様、地域の皆様、令和7（2025）年の新しい年を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。職員一同、子どもたちはもちろんのこと浜之郷小学校にかかわる全てのご家庭、地域の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。2025年も皆様にとって良い年になりますように。



## 「だれもが等しく学べる」工夫

浜之郷小学校では、昨年4月より神奈川県教委の「インクルーシブ教育校内支援体制推進事業」の指定を受け、どんな状況にあってもだれもが等しく学べる環境づくりを目指しています。

具体的には、学校をあげてこんなことを頑張ろうとしています。

- ◎ 言葉（音声）だけの説明 → 図、文字、記号（→など）、色などを活用してわかりやすく
- ◎ 「自由に」「なんでもいい」 → いくつかの例から選ぶ（もちろん自分の発想も Good）
- ◎ 行動の指示だけ → 分割して指示+友達や先生と一緒にやっても OK
- ◎ ひたすら練習問題 → 必要な分だけ練習（人によって量が違う）
- ◎ 終わったらやることなし → 補充の問題を用意 …

もうちょっと個別支援的な例では、

- 国語の読み方をはかる以外のテストの問題にふりがながついている
- テスト問題の文章を誰かが読んであげる
- ノートにメモする代わりにタブレットで写真を撮る
- 座らず立ったまま授業を受ける… みないなことも、考えています。

いかがですか？◎の項目を意識することは、「だれにでもやるべきことがわかる・できる」ことをめざしています。取り組みやすさや、集中を高める効果もあるでしょう。○の項目については、「そうすることで本来の目的が達成できる」ことが目的となります。字や文章の理解に時間がかかって本来のその教科の内容の定着をみることができないならば、正当な評価ができなかったり、「座ってたら寝ちゃうから…」という子どもが授業を受けたいという願いをかなえたりするためです。これらは、学習の本来の目的を達成するための工夫だと思っています。

同様に考えれば、家庭での声掛けも変わってくるかもしれません。「本を読みなさい！」で読書する子はいません。テレビやゲームなどの音を取り除く、初めの1ページと一緒に読むなどの工夫をしてみても？さて「勉強しなさい！」では？皆さんのご家庭での工夫を教えてください。

12月までは我慢ができる寒さでしたが、これからはもっともっと寒くなることでしょう。子どもたちのあいさつもしほみがちです。今一度、あいさつの意味を話し合ってみてください。もう一つのお願ひです。温かい手袋、帽子をご用意ください。フードを目深にかぶり、ポケットに手を突っ込んで歩いている子どもたちを数多く見かけます。視界が狭まり、万が一転んだ際に手が出ないなど、子どもたちの様子を見ていて心配になります。どうぞ、ご協力ください。